

愛知県「休み方改革」プロジェクトについて

2024年2月27日 JATA経営フォーラム

愛知県政策企画局企画調整部地方創生課

①「休み方改革」について

②愛知県「休み方改革」プロジェクトについて

「休み方改革」の目的

休み方改革を通じ、
国民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と
生産性向上による日本経済の活性化の実現
を目指す。

休み方に関する課題認識

① 従業員の休暇満足度の向上は、生産性や従業員の定着率の向上に寄与する。一方、日本には、祝休日は多くあるものの、国民が一斉に休みを取るため、質の高い休暇を楽しむことができない。



② 学校は祝休日が休みであるが、企業の業種・職種や規模によって、親が祝休日に仕事をしていることも多く、家族と一緒に過ごす時間がつくりづらい。

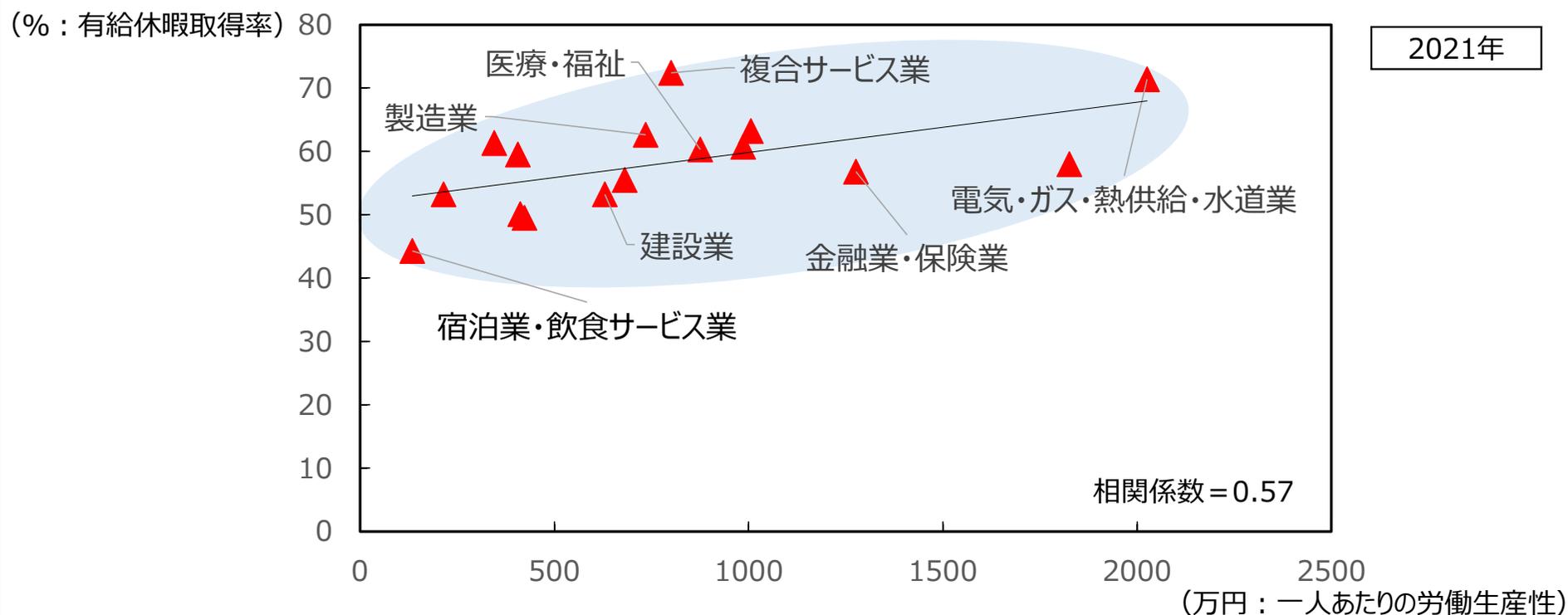


③ 日本の産業、特にサービス産業は、繁閑差が大きいことから、人員等の最適化が図りにくく、欧米に比べて生産性が低い。



【関連データ】産業別有給休暇取得率と労働生産性の関係

有給休暇の取得率と労働生産性との間には、一定の相関が見られ、**有給休暇取得率が高い産業は、労働生産性が高い傾向がある。**



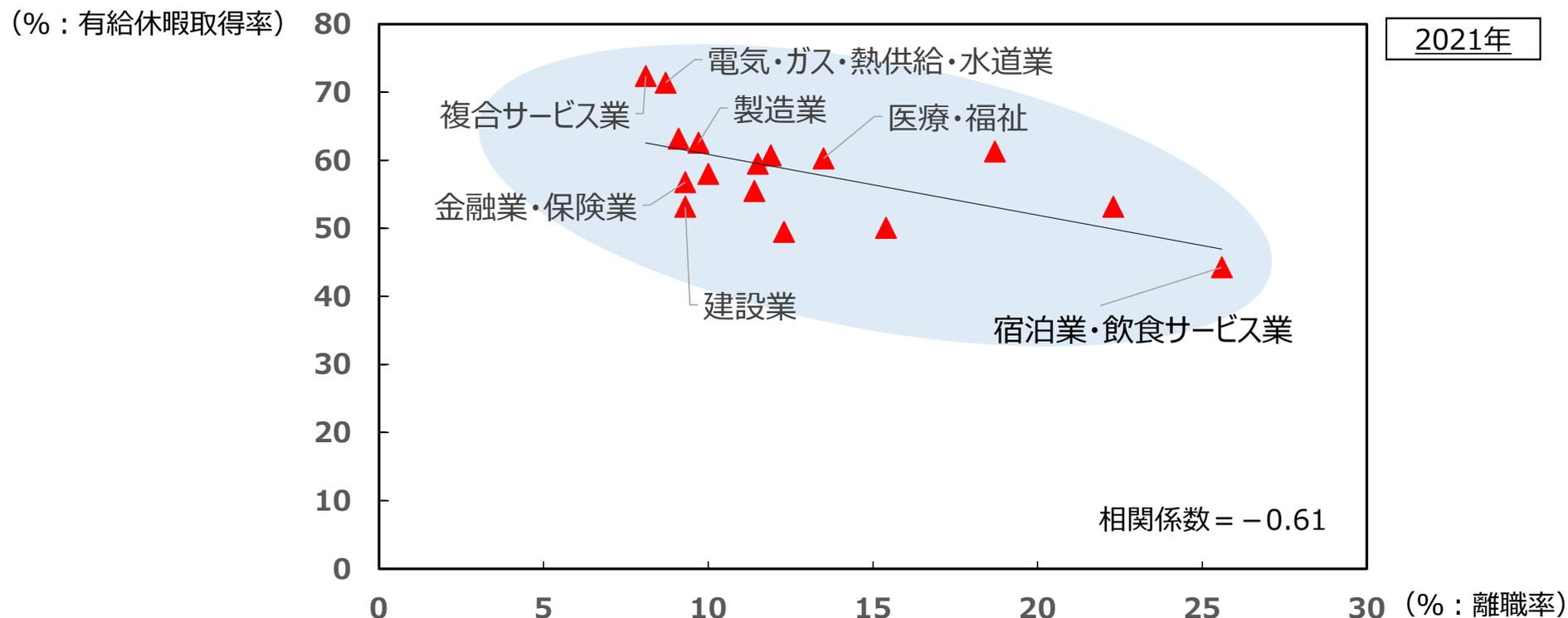
厚生労働省「労働市場分析レポート第86号 休暇取得等の影響について」を参考に、総務省「令和3年 経済センサス活動調査（速報集計）」、厚生労働省「雇用動向調査」、「就労条件総合調査」から愛知県作成

※「取得率」は、(取得日数計/付与日数計) × 100(%)である。

※「労働生産性」は、純付加価値額(売上高-費用総額+給与総額+租税公課)を従業者数で除したものである。なお、純付加価値額は2020年の額である。

【関連データ】産業別有給休暇取得率と離職率の関係

有給休暇の取得率と離職率との間には、一定の相関が見られ、**有給休暇取得率が高い産業は、離職率が低い**傾向がある。



厚生労働省「労働市場分析レポート第86号 休暇取得等の影響について」を参考に、総務省「令和3年 経済センサス活動調査（速報集計）」、厚生労働省「雇用動向調査」、「就労条件総合調査」から愛知県作成

※「取得率」は、(取得日数計/付与日数計) × 100(%)である。

※「離職率」は、常用労働者数に対する離職者数の割合をいう。

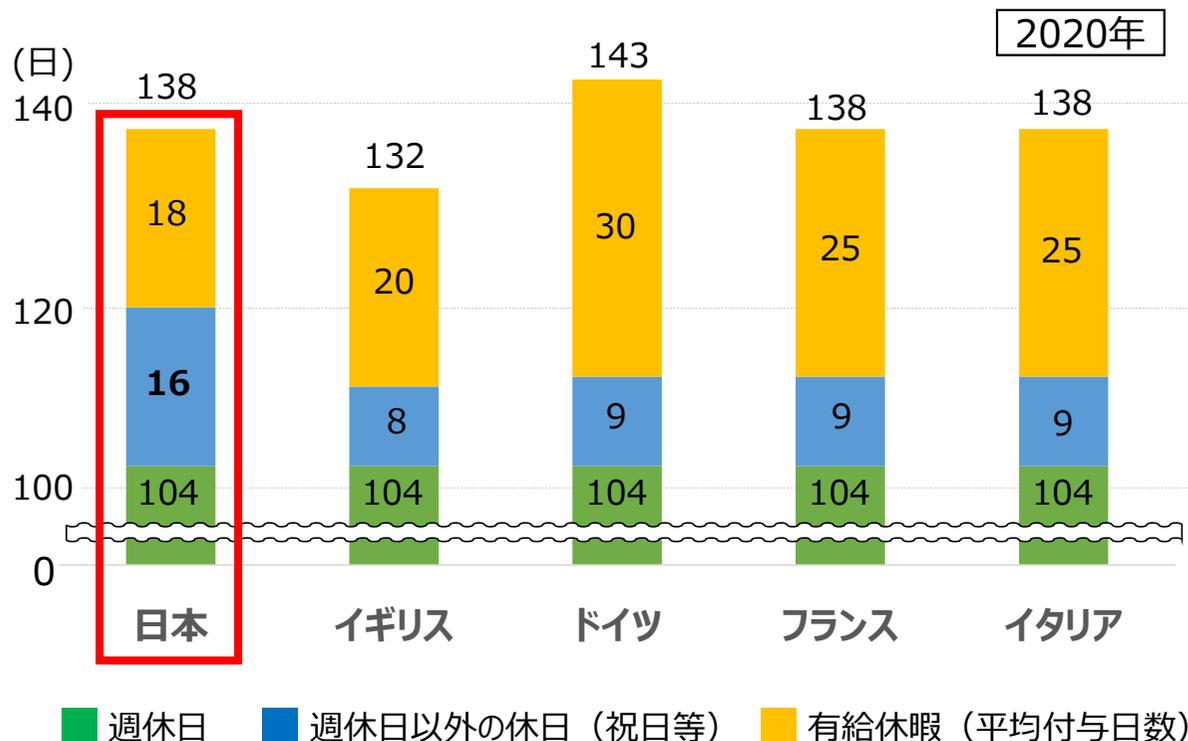
【関連データ】祝休日と有給休暇の国際比較

- 日本の祝日は年間 16 日ある。
- 日本と欧州先進国を比較すると年間の休日・有給休暇付与日数は変わらないものの、**日本は祝日による休暇の割合が高く、有給休暇の割合が低い。**

①日本の祝日（2024年）

1月1日	元日
1月8日	成人の日※
2月11日	建国記念の日
2月23日	天皇誕生日
3月20日	春分の日
4月29日	昭和の日
5月3日	憲法記念日
5月4日	みどりの日
5月5日	こどもの日
7月15日	海の日※
8月11日	山の日
9月16日	敬老の日※
9月22日	秋分の日
10月14日	スポーツの日※
11月3日	文化の日
11月23日	勤労感謝の日

② 年間休日・有給休暇付与日数



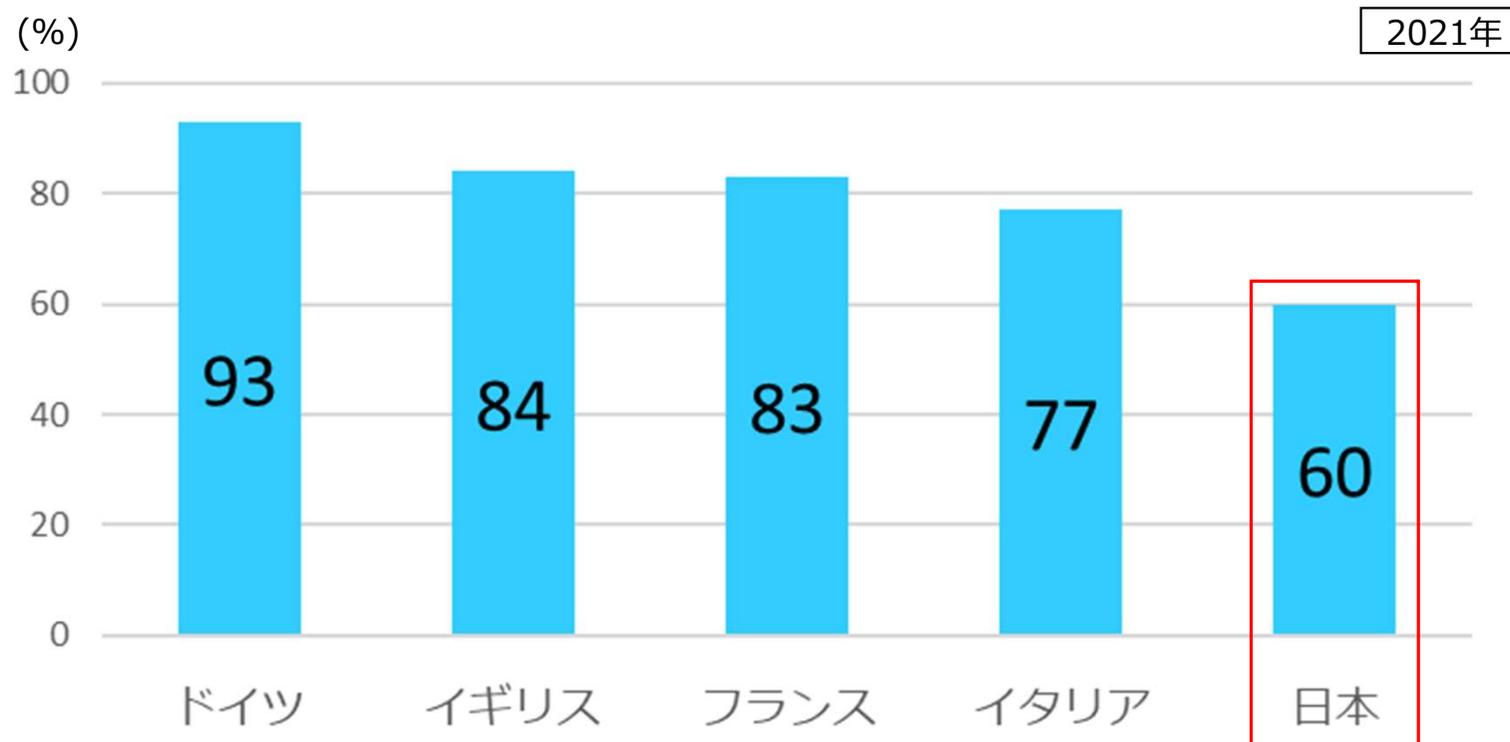
① : ※はハッピーマンデー対象の祝日

② : (独) 労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2022」をもとに愛知県作成

【関連データ】祝休日と有給休暇の国際比較

有給休暇の取得率は欧州先進国に比べて低い。

有給休暇の取得率

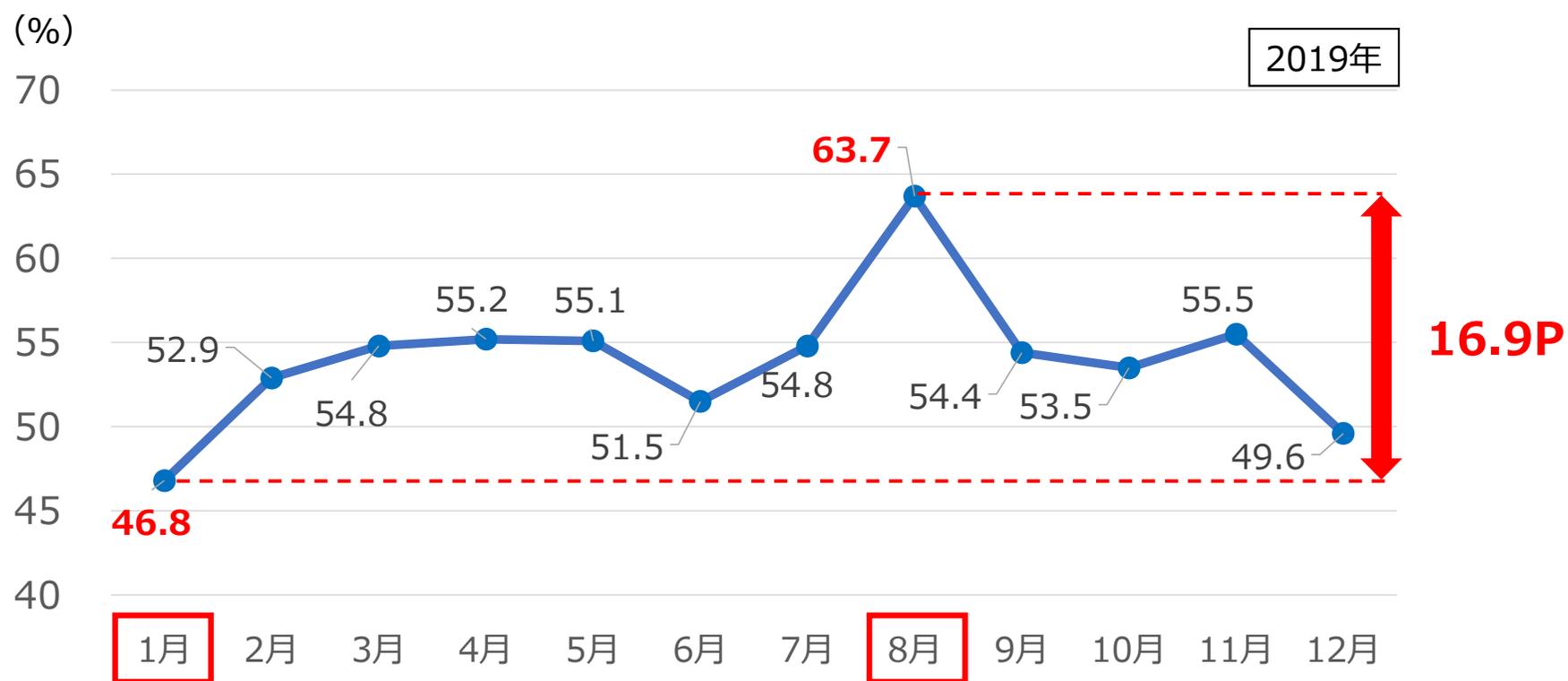


※ (株)エクスペディア「有給休暇の国際比較調査 2021」をもとに愛知県作成

【関連データ】観光需要の集中

観光目的客が多い宿の客室稼働率は、繁忙期の8月と閑散期の1月では約17ポイントの開きがあるなど、日本国内においては、特定の月に偏在している。

観光目的客50%以上の宿における客室稼働率

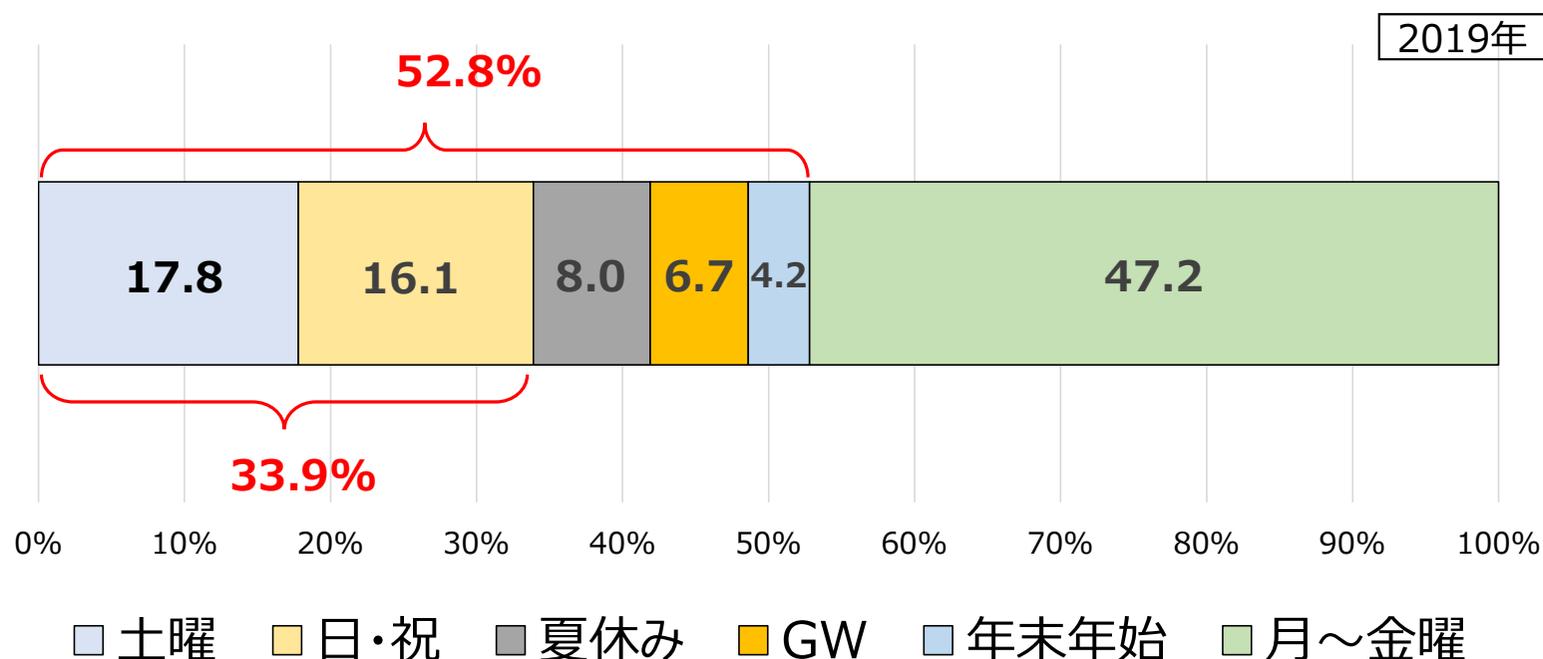


観光庁「宿泊旅行統計調査」平成31年1月～令和元年12月分（年の確定値）をもとに愛知県作成

【関連データ】観光需要の集中

宿泊を伴う国内旅行の出発日を見ると、土・日・祝日で全体の約1/3を占め、さらに夏休み・GW・年末年始を含めると1/2以上を占めるなど、特定の曜日や期間に集中している。

宿泊を伴う国内旅行の出発日



(公財)日本交通公社「旅行年報2020」をもとに愛知県作成
※「国内旅行」は「観光・レクリエーションを目的とする国内宿泊旅行」を指す
※「夏休み」は学校における夏休みを指す

休み方に関する課題認識

① 従業員の休暇満足度の向上は、生産性や従業員の定着率の向上に寄与する。一方、日本には、祝休日は多くあるものの、国民が一斉に休みを取るため、質の高い休暇を楽しむことができない。



② 学校は祝休日が休みであるが、企業の業種・職種や規模によって、親が祝休日に仕事をしていることも多く、家族と一緒に過ごす時間がつくりづらい。



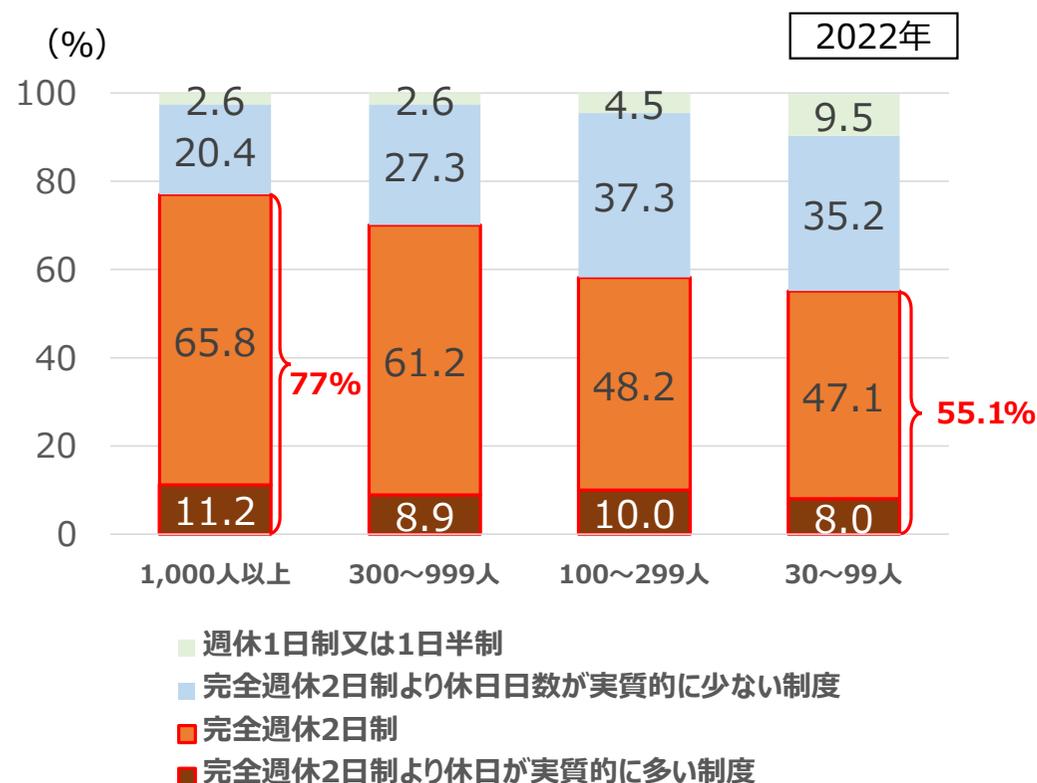
③ 日本の産業、特にサービス産業は、繁閑差が大きいことから、人員等の最適化が図りにくく、欧米に比べて生産性が低い。



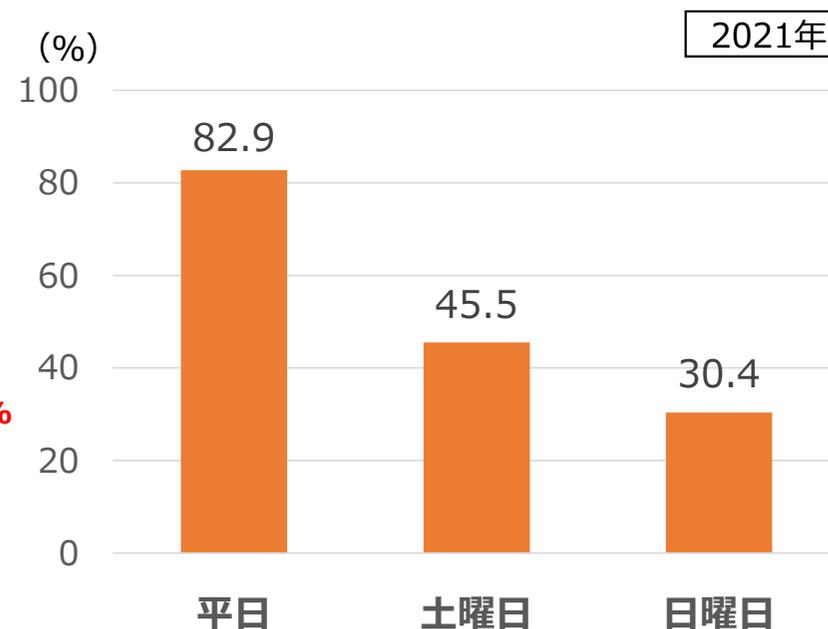
【関連データ】週休制と土日に仕事をしている人の割合

- 完全週休2日以上の子度の採用割合は、従業員1,000人以上の企業が77.0%に対し、30~99人の企業では、55.1%となっている。
- 有業者のうち、平日に働いている人の割合は82.7%、土曜日に働いている人は45.5%、日曜日に働いている人の割合は30.4%となっている。

①従業員規模別の週休2日制度の採用状況



②有業者のうち、平日・土日に働いている人の割合



出典：①厚生労働省「令和4年就労条件総合調査」
 ②総務省「令和3年社会生活基本調査」

休み方に関する課題認識

- ① 従業員の休暇満足度の向上は、生産性や従業員の定着率の向上に寄与する。一方、日本には、祝休日は多くあるものの、国民が一斉に休みを取るため、質の高い休暇を楽しむことができない。
- ② 学校は祝休日が休みであるが、企業の業種・職種や規模によって、親が祝休日に仕事をしていることも多く、家族と一緒に過ごす時間がつくりづらい。
- ③ 日本の産業、特にサービス産業は、繁閑差が大きいことから、人員等の最適化が図りにくく、欧米に比べて生産性が低い。

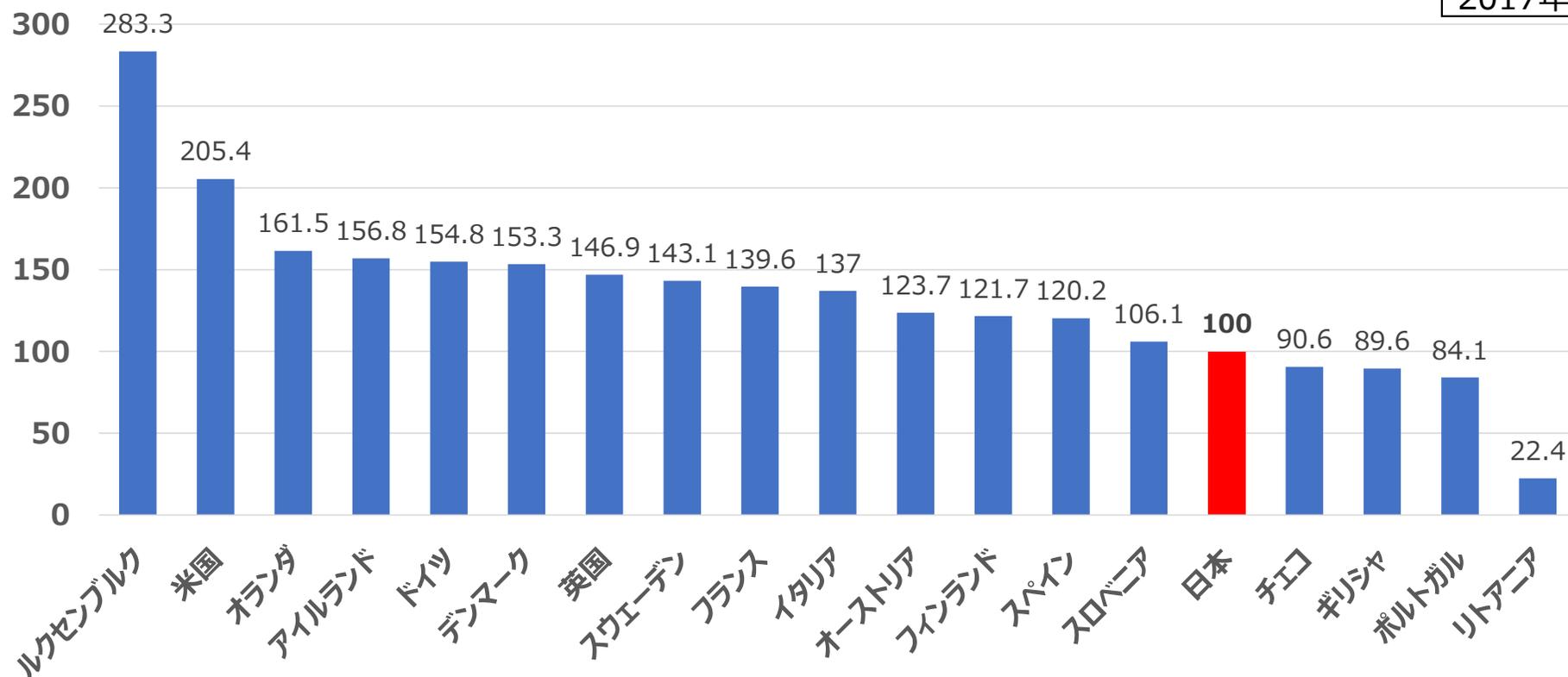


【関連データ】サービス産業の労働生産性

日本のサービス産業の労働生産性は、欧米先進国に比べて、低い水準にとどまっている。

欧米とのサービス産業の労働生産性比較

2017年

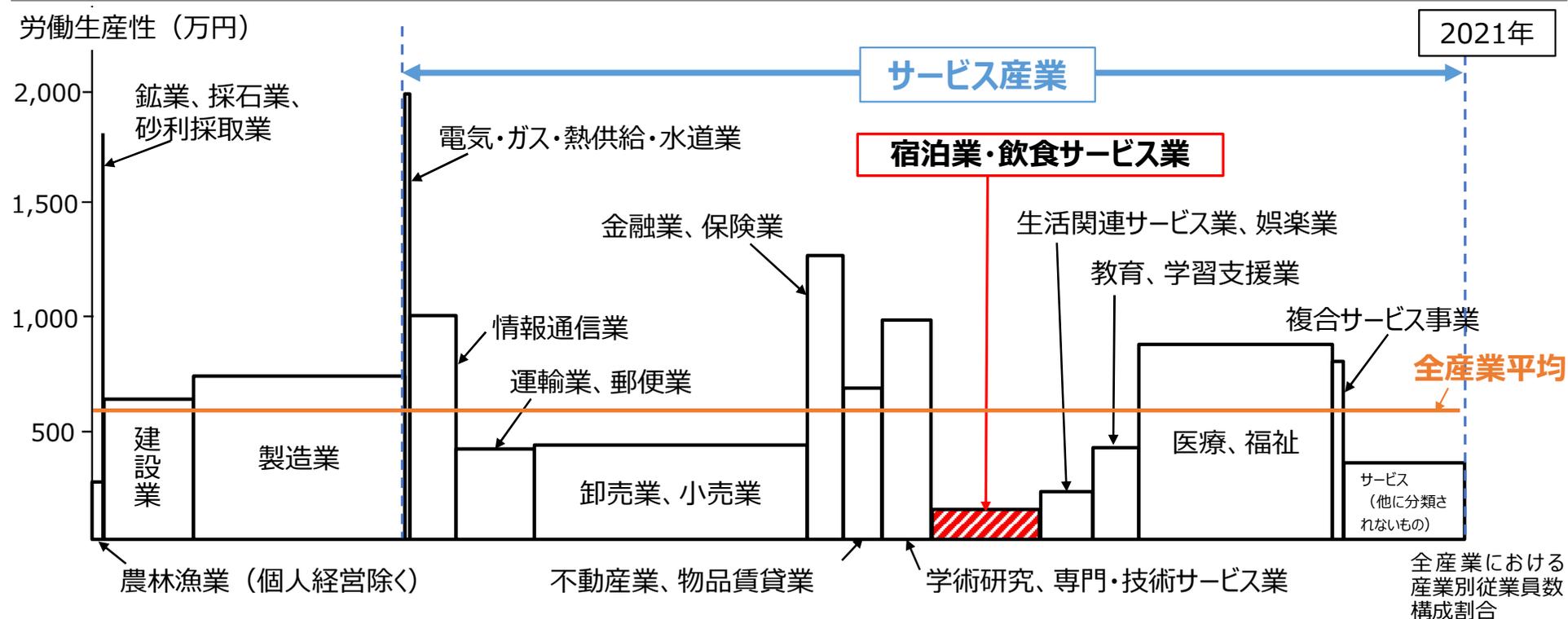


出典：（公財）日本生産性本部生産性総合研究センター
「生産性本部レポートVol.13 産業別労働生産性水準の国際比較～米国及び欧州各国との比較」

【関連データ】サービス産業の労働生産性

サービス産業には、「電気・ガス・熱供給・水道業」や「金融業、保険業」のように労働生産性の高い産業がある一方、「**宿泊業・飲食サービス業**」は、比較的多くの雇用を抱える産業であるものの、**労働生産性が著しく低い**状況となっている。

産業別労働生産性比較



総務省・経済産業省「令和3年 経済センサス活動調査（速報集計）」をもとに愛知県作成

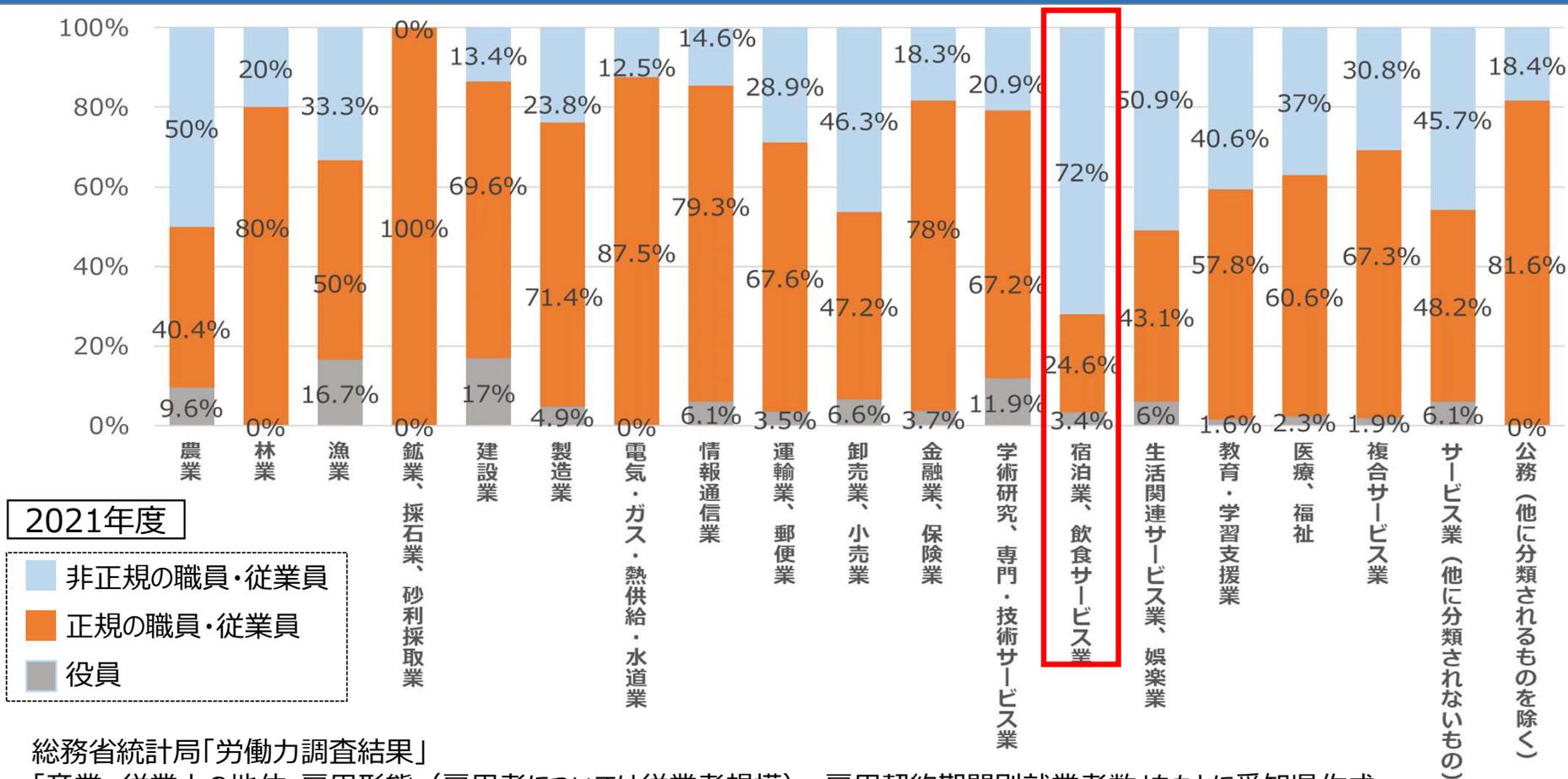
※ 労働生産性 = 純付加価値額 / 従業員数

※ 純付加価値額 = 売上高 - 費用総額 + 給与総額 + 租税公課（純付加価値額は2020年の額）

【関連データ】我が国産業の正規・非正規雇用の割合

「宿泊業・飲食サービス業」は、非正規の職員・従業員の割合が72%と全産業の中で突出して高くなっている。

雇用者の産業別就業形態



2021年度

- 非正規の職員・従業員
- 正規の職員・従業員
- 役員

総務省統計局「労働力調査結果」

「産業、従業上の地位・雇用形態（雇用者については従業者規模）・雇用契約期間別就業者数」をもとに愛知県作成

「休み方改革」に向けた問題提起

① 土日祝日などの特定の日に国民が一斉に休むのではなく、**企業や個人単位で休日を柔軟に設定できる環境**をどのようにつくっていくか。



② 平均取得率6割程度に止まる**有給休暇の取得**が進むよう、いかに環境整備していくか。



③ 子どもの休みを契機に家族が一緒に休める、家族の休みに合わせて子どもも活動できる**仕組み**をどうつくっていくか。



2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

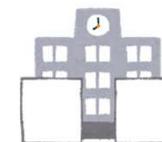
● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



愛知県「休み方改革」プロジェクト

あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- 2022年の県政150周年を契機に創設した「あいち県民の日(毎年11/27)」、「あいちウィーク(毎年11/21～27)」において、市町村、事業者等とも連携し、イベントの開催や公の施設の使用料等の減免を実施。

■あいち県民の日条例の概要（2022年12月23日公布・施行）

県民が、地域の自然、歴史、風土、文化、産業等についての理解と関心を深め、愛知への愛着及び県民としての誇りを持つ契機とするとともに、暮らし、教育、労働、経済、環境等が調和した輝く愛知の実現を期するため、11月27日を「あいち県民の日」と定めた。

あいちウィークにおけるイベントの開催

- ① P R 事業の実施
- ②あいちウィークにおけるイベントの開催
- ③推進体制の運営

公の施設の使用料等の減免

平日を含む「あいちウィーク」期間中に、美術館や博物館を始めとした公の施設の利用に係る使用料等を減免



あいち県民の日・あいちウィーク【取組実績】

PR事業の実施

あいち県民の日・あいちウィークの周知と機運醸成を図るため、県内の主要駅や電車内におけるポスター等を活用したPRやテレビCMによるPRを実施した。



駅や電車内でのPR
(金山駅)



あいち県民の日
PRポスター



県民の日・あいちウィークを
周知するテレビCM

あいち県民の日・あいちウィーク【取組実績】

県民の日・あいちウィークを周知するテレビCM（15秒）



あいち県民の日・あいちウィーク【取組実績】

県主催イベントの実施

「あいち県民の日」を祝し、あいち県民の日フェスタ2023(11/25,26)、あいち県民の日記念式典(11/27)を開催した。また、県内の小中学生を対象に、あいちの魅力デジタル絵画コンクールを開催した。



県民の日フェスタでの県内学生によるダンス・演奏ステージ



県民の日フェスタでの地元食材を使ったグルメ・特産品の販売



記念式典での愛知の歴史・魅力に関する記念講演会

あいちの魅力発見バスツアーの実施

郷土への愛着及び誇りを醸成する期間である「あいちウィーク」期間中の平日に、**県民向け**のバスツアーを実施



あいち県民の日・あいちウィーク【取組実績】

あいちウィークにおける連携事業の展開

庁内や市町村、民間事業者とも連携し、あいちウィークを含む11月には県内各地で様々な連携事業を実施した。

● あいち県民の日連携事業（県・市町村）

区分	一例
県事業	<ul style="list-style-type: none">・ 愛知県美術館コレクション展の観覧料無料・ 愛知こどもの国・海南こどもの国でのゴーカート等の無料・割引
市町村事業	<ul style="list-style-type: none">・ 豊橋総合動植物公園：入園料無料（豊橋市）・ 瀬戸蔵ミュージアム入館料割引（瀬戸市）

● あいちウィーク協賛事業（民間事業者）

事業者	内容
名古屋鉄道	・ 小児用まる乗り1DAYフリーきっぷを100円で販売（通常1,600円）
バローホールディングス	・ バローAmazonネットスーパーで「県民の日」協賛セール開催
イオンリテール東海カンパニー	・ 県内イオン全店でお買物クーポンが当たるWAONチャージ抽選会
ユニー	・ 県内アピタ・ピアゴ・ユーストアでイベントやキャンペーンを実施
スギ薬局	・ 県内の店舗で利用可能な1品15%オフクーポンを配信
コメダ	・ コーヒーチケット（おかげ庵はドリンクチケット）を1冊購入につき対象ドリンク1杯無料券
松坂屋	・ 愛知の企業が手がけるアイテムや地元グルメにより愛知の魅力を発信

※上記も含め、県内各地で400以上の連携事業・協賛事業を実施

2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



愛知県「休み方改革」プロジェクト

家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり【県民の日学校ホリデー】

- 子どもの休みを契機に家族と一緒に休める仕組みとして、あいちウィーク期間中の1日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、新たな学校休業日を創設した。併せて、保護者への年休取得の呼びかけや休暇を取得できない家庭の子どもの居場所づくりに取り組んだ。

県民の日学校ホリデーの創設・実施

愛知県内の公立学校（幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校）において、11月21日から27日までのあいちウィークの期間中の1日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、休業日とする。

「県民の日学校ホリデー」は、学校教育法施行令第29条の「体験的学習活動等休業日」とするもの。



県民の日学校ホリデー【取組実績】

県民の日学校ホリデー実施日（2023年度）

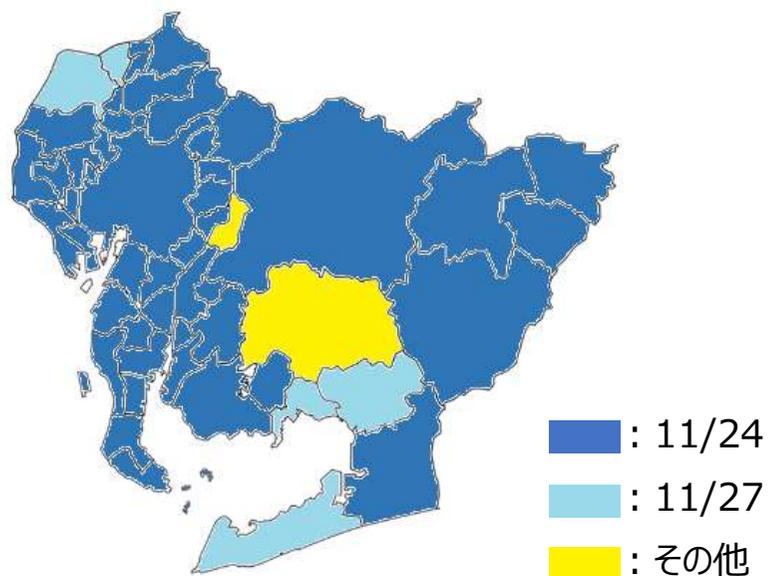
● 市町村（全54市町村）

実施日	数
11/24（金）	47市町村
11/27（月）	5市
その他	2市

● 県立学校（全178校）

実施日	数
11/21（火）	9校
11/22（水）	39校
11/24（金）	82校
11/27（月）	48校

※高等学校及び特別支援学校の計



※私立学校は、自主性を尊重し、各学校に実施の判断を委ねたが、中学校で約75%、高等学校で約85%、幼稚園でも約80%が実施した。

県民の日学校ホリデー【取組実績】

保護者・教員の休み方改革

●保護者の休み方改革

保護者が子どもと一緒に過ごせるよう、県から県内の経済団体を通じ、年次有給休暇取得の推進を呼びかけた。

●教職員の休み方改革

教職員の休み方改革にも繋がるよう、県民の日学校ホリデーを活用した積極的な休暇取得を呼びかける知事メッセージを発出。

県民の日学校ホリデー【取組実績】

子どもの居場所づくり

●放課後児童クラブの開所

休暇を取得できない家庭の子どもの居場所づくりとして、県から各市町村に対し、放課後児童クラブの開所を呼びかけた。

●子ども食堂への支援

民間事業者のあいちウィーク協賛事業として、愛知県経済農業協同組合及び愛知県生活協同組合連合会から提供された食材を、「県民の日学校ホリデー」に開設する子ども食堂へ配送した。



愛知県産米
「愛ひとつぶ」



CO・OP
「ビーフカレー甘口」

※ 県内で活動し「県民の日学校ホリデー」に子ども食堂を開設する31団体に送付

●民間企業・団体によるイベントの開催

連合愛知による児童養護施設に通う子どもたちのための農業体験イベントなど、県民の日学校ホリデーに合わせてイベントが開催された。

愛知県「休み方改革」プロジェクト

家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり【ラーケーションの日】

- 家族の休みに合わせて、子どもが校外で体験や探究の学び・活動を実行できる、愛知発の新しい学び方・休み方である「ラーケーションの日」を創設した。

ラーケーションの日の創設・導入

ラーケーション(learcation)とは

ラーニング(learning)(学習)とバケーション(vacation)(休暇)を組み合わせた造語

家族の休暇に合わせて、子どもたちが家族と学校外で、体験や探究の学び・活動ができる「ラーケーションの日」を導入。

登校しなくても欠席とならず、年に3日まで取得可能(まとめてとることも可)。

「ラーケーションの日」の取得により受けられなかった授業内容は、家庭において、事前あるいは事後に教科書等を用いて自習する。

ラーケーションの日【取組実績】

「ラーケーションの日」の開始予定

2023年9月以降、導入に向けた環境が整った学校や市町村から、順次実施。

●市町村（53市町村）

開始予定時期	数
9月	14市町村
10月	34市町村
11月	4市町
1月	1市

●県立学校（全178校）

開始予定時期	数
9月	118校
10月	58校
11月	2校

※高等学校及び特別支援学校の計

●ラーケーションの日の活動内容（一例）

屋外での活動	アスレチック、スポーツライミング、登山、キャンプ、シュノーケリングなど
文化施設での活動	水族館、博物館、美術館、科学館など
地域の特色を知る活動	その土地の文化的・歴史的建造物の見学など
家族とのふれあいを深める活動	夕食・デザートづくり、DIYなど
職場体験的な活動	バイオリン工房の見学、動物のトリミング体験、保育園訪問、保護者の職場見学など
その他の活動	高校文化祭への科学部発表への参加、日本舞踊（なごや踊り）の体験、時刻表を使った電車旅など

ラーケーションの日【取組実績】

推進に向けた取組

● 保護者向け

「ラーケーション」にふさわしい施設や学びに役立つ情報を掲載したポータルサイトの立ち上げや、保護者用リーフレットを作成。



「ラーケーションの日」
ポータルサイト
(トップページ)



「ラーケーションの日」
保護者用リーフレット

● 学校・教職員向け

増加する事務の負担軽減を図るため、校務支援員を各校に1名配置。また、導入がスムーズにいくよう「ラーケーションの日」の手引きやQ&A等を作成。

こうした負担軽減により、教職員も自身の子供と一緒に「ラーケーションの日」を取得してもらい、教職員の「休み方改革」にも繋げる。

※ 「ラーケーションの日」と「県民の日学校ホリデー」が実施されるにあたり、9月4日に、愛知県知事から「保護者・児童生徒」向けと「教職員」向けにメッセージを発出。

ラーケーションの日【参考情報】

他自治体への取組の広がり

ラーケーションの日は、全国初の取組としてメディア等でも多く取り上げられるとともに、観光業が盛んで、保護者の繁忙期と学校の休みが重なり子どもと一緒に休むことが難しいといった課題を持つ他自治体を中心に、同様の取組が広がっている。さらに、都道府県単位でも導入を決めたところが出てきている。

●大分県別府市：たびスタ休暇（「旅」+「学習(study)」）

保護者等と市外に旅行する場合に、年度で3日まで取得できる休暇制度を2023年9月から導入。

●沖縄県座間味村：ざまやすみ

家族で過ごす時間の確保や遠方への旅行を通して、子どもの成長へつなげてもらうため、年度で3日まで取得できる休暇制度を2024年4月から導入予定。

●栃木県日光市：ちょこっとスタバケ日光（「スタディ」+「バケーション」）

家族で旅行や自然体験、芸術活動、スポーツ体験などをする際、学校に届けを出せば3日間（連続取得も可）の活動休暇が認められ、2024年4月から導入予定。

●茨城県：ラーケーション制度

校外での体験活動を企画し、平日に学校を休んで保護者らと活動できる機会を確保するため、2024年4月から導入。年間最大5日間取得できる。

2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



愛知県「休み方改革」プロジェクト 平日や閑散期への観光需要のシフト

- 平日などの閑散期に限定した割引特典等を提供する観光関連事業者を募集し、その特典内容をPRする「あいちスキ旅キャンペーン」を実施した。

あいちスキ旅キャンペーン

●特典内容の例

(宿泊施設) 宿泊料金10%割引／客室の無料アップグレード／
ビールなどのワンドリンクサービス 等

(観光施設) 小中高生限定で施設入場料半額／グッズや割引券
等のプレゼント 等

●キャンペーン開始日 2023年7月3日～

参画施設数

147施設 (2024年1月19日現在)



あいちスキ旅キャンペーン【取組実績】

あいちスキ旅キャンペーンのプロモーションの展開

テレビCMや新聞広告により、あいちスキ旅キャンペーンのプロモーションを展開。



スキ旅キャンペーンをPRする新聞広告



スキ旅キャンペーンをPRするテレビCM

あいちスキ旅キャンペーン【取組実績】

スキ旅キャンペーンを周知するテレビCM（15秒）



あいちスキ旅キャンペーン【取組実績】

あいちスキ旅キャンペーンのプロモーションの展開

以前から休みの分散化を提唱してきた星野リゾートの星野社長と対談した。



観光雑誌「Discover Japan」で、星野リゾート星野社長と「休み方改革と観光需要の平準化」をテーマに対談。

2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



愛知県「休み方改革」プロジェクト

休暇を取得しやすい職場環境づくり【休み方改革マイスター企業認定制度】

- 年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を奨励する「休み方改革マイスター企業認定制度」を創設した。

休み方改革マイスター企業認定制度

● 認定対象

中小企業者（中小企業基本法第2条）、医療法人・個人開業医、
社会福祉法人、学校法人、NPO法人 など

● 認定区分と主な優遇措置

平均年次有給休暇取得率等に応じてブロンズ、シルバー、ゴールドの3区分で認定。
知事表彰、ハローワークの求人票への認定企業の表示、建設工事の入札参加資格
審査における優遇、制度融資の利用など、認定区分に応じて様々な優遇措置を受けることができる。

認定状況（2024年1月19日現在）

301社（ゴールド6社、シルバー50社、ブロンズ245社）



愛知県「休み方改革」プロジェクト

休暇を取得しやすい職場環境づくり【休み方改革マイスター企業認定制度】

- 年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を奨励する「休み方改革マイスター企業認定制度」を創設した。

休み方改革マイスター企業認定制度

● 主な認定基準

認定区分	主な認定基準
ブロンズ	<ul style="list-style-type: none">愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体平均年次有給休暇取得率60%以上(※)年次有給休暇の取得状況の公表(自社HP等)
シルバー	ブロンズに加えて以下を満たすこと <ul style="list-style-type: none">平均年次有給休暇取得率75%以上(※)「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」賛同事業所時間単位の年次有給休暇制度の導入
ゴールド	ブロンズ、シルバーに加えて以下を満たすこと <ul style="list-style-type: none">平均年次有給休暇取得率90%以上(※)経営者自身の積極的な休暇取得男性従業員の育児休業取得

※ 県が指定する特別休暇（あいちウィーク休暇、ラーケーション休暇、リフレッシュ休暇等）を2つ以上導入している場合は、ブロンズは50%以上、シルバーは65%以上、ゴールドは80%以上とする。

● 認定企業の主な優遇措置

【ブロンズ】

- 「休み方改革マイスター企業」の名称及び認定マークの使用
- 県のHP等による企業名のPR、各種セミナー等の情報提供
- 企画提案方式による県事業の委託先選定における評価点の加点
- 建設工事の入札参加資格審査における加点
- ハローワークの求人票における認定企業の表示 など

【シルバー】…ブロンズに加えて以下の優遇措置を実施

- あいちテレワーク・モデルオフィスの優先（先行）予約
- 就職面接会・合同企業説明会・企業向けセミナーへの優先参加
- 県の制度融資の融資対象
- 県関係団体主催の企業向け講座等に係る受講料の減免等
など

【ゴールド】…ブロンズ及びシルバーに加えて以下の優遇措置を実施

- 知事表彰
- 副賞（年次有給休暇を付与する従業員全員に県の特産品等を贈呈）

休み方改革マイスター企業認定制度【取組実績】

休み方改革シンポジウムの開催

休み方改革の取組推進と有給休暇の取得促進に向けた機運の醸成を図るため、「休み方改革シンポジウム(11/22)」を開催。

シンポジウムでは、休み方改革マイスター企業認定制度で最高位のゴールド認定企業の表彰や、休み方改革に関する基調講演、休み方改革に取り組む県内中小企業によるパネルディスカッションを実施した。



ゴールド認定企業を
知事から表彰



(株)クロスリバーの越川代表取締役
社長による基調講演



県内中小企業による
パネルディスカッション

●名古屋銀行

～「休み方改革特別休暇」の制定～



- パートを含む約2,400人の全従業員を対象に、「休み方改革特別休暇」を2023年10月1日から導入。
- 2023年度中に1日を付与し、任意の日に取得可能。
- 年次有給休暇と別に有給の特別休暇とし、県外在住者や海外支店も対象とする。
- 手薄になりそうな部署には応援を派遣するなど、対策を図る。

●JAあいち豊田

～「県民の日学校ホリデー休暇」の新設～



- 幼稚園・こども園、小・中学校、高校、特別支援学校や私立学校に通う子を持つ職員と臨時雇用者を対象に、「県民の日学校ホリデー」の開始に合わせて、有給扱いとなる特別休暇「県民の日学校ホリデー休暇」を新設。2024年度以降も継続予定。
- あいちウィーク期間中の取得を基本としつつ、この期間に取得できない職員も想定し、家族と子どもが一緒に過ごす日として、1年度に1日を付与。

2023年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベントの開催
- 公の施設の使用料等の減免
- あいちの魅力発見バスツアーの実施



● 家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり

- 「県民の日学校ホリデー」の創設・実施
- 「ラーケーションの日」の創設・導入



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- あいちスキ旅キャンペーン



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- 休み方改革マイスター企業認定制度の創設



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 愛知県「休み方改革」イニシアチブ



愛知県「休み方改革」プロジェクト 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- 経済界・労働界・教育界と行政が一体となって「休み方改革」を推進した。

愛知県「休み方改革」イニシアチブ

2023年3月30日、推進団体と休み方改革の推進に関する同意書に署名。

併せて、「『休み方改革』イニシアチブ賛同企業・団体」を募集し、地域が一体となって愛知発の「休み方改革」を盛り上げる。

● 推進団体

名古屋商工会議所 中部経済連合会 愛知県経営者協会
中部経済同友会 日本労働組合総連合会愛知県連合会
愛知県 愛知県教育委員会

賛同企業・団体数

826企業・団体（2024年1月19日現在）



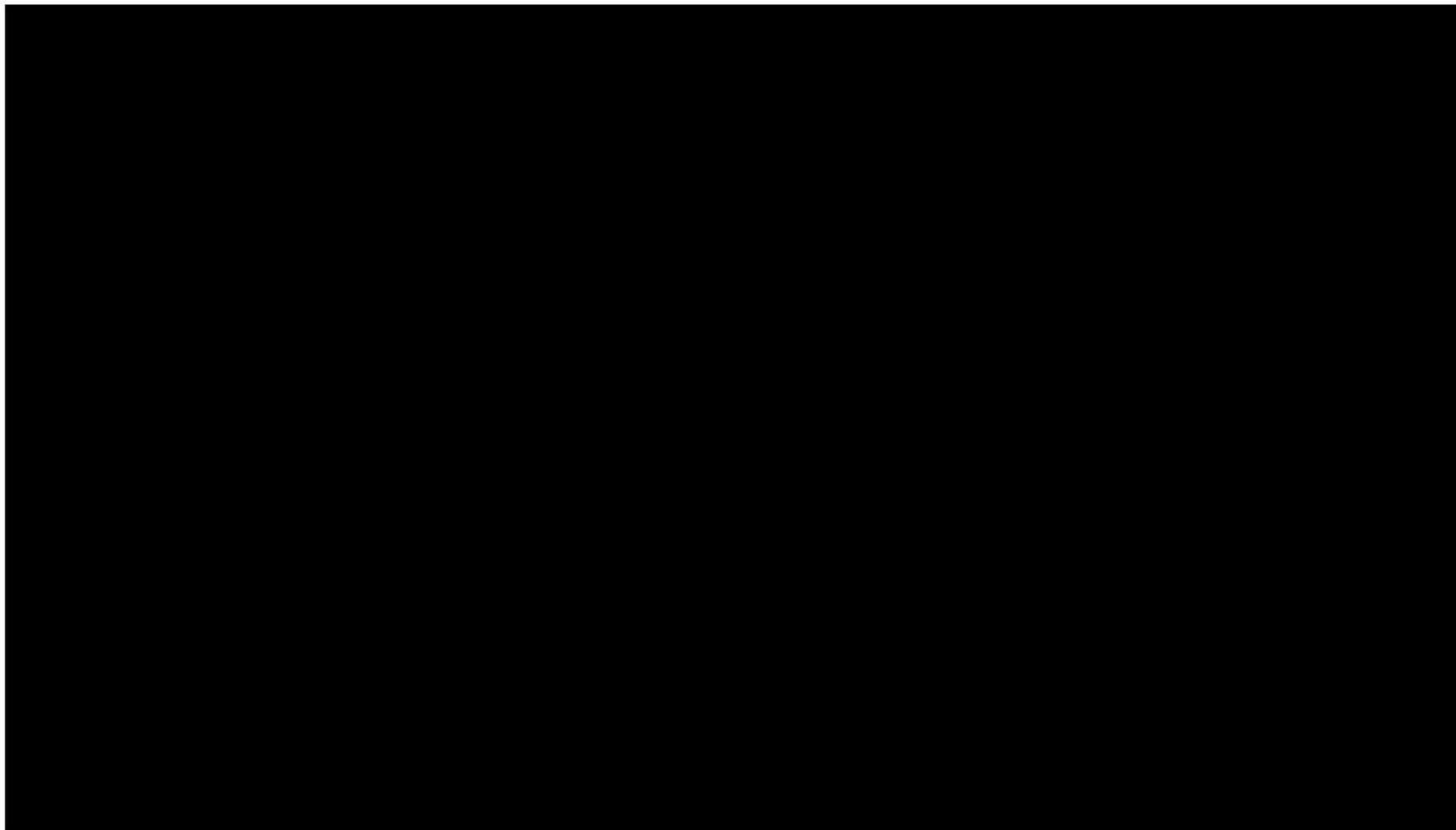
休み方改革イニシアチブ
推進に関する同意書署名式



賛同企業・団体を
募集するテレビCM

愛知県「休み方改革」イニシアチブ【取組実績】

賛同企業・団体を募集するテレビCM（15秒）



全国知事会「休み方改革プロジェクトチーム」

- 愛知発の「休み方改革」を国民運動として全国に展開すべく活動した。

全国知事会に、大村知事をリーダーとする「休み方改革プロジェクトチーム」を設立。
39都道府県が参加(2023年12月11日現在)。

提言・先行事例集を取りまとめ、省庁や経済・労働団体、観光関係団体、教育関係団体等に要請活動を実施。



日本労働組合総連合会 芳野会長
への要請活動(2023年7月21日)



日本経済団体連合会 小路副会長
への要請活動(2023年8月3日)

ご清聴ありがとうございました